





## 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


### 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 高蔵小 学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	1～6年 全校児童 230名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 体育科 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( 人権教育 ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	○ 目が不自由な状態で生活する苦勞や工夫を知り、体験を通して考え、障害をもった方たちと共生する社会について考える。 ○ ゴールボール選手の方の話を聞いたり、アイマスクや競技の体験をしたりして、誰もが気持ちよく生きるために必要なことについて自分の考えをもち、実践していこうとする心情を養う。
5 取組内容	① 「わたしたちの未来をつくろうプロジェクト」市長からのメッセージを視聴する。   ② ゴールボールの選手の話聞く。  

	<p>③ ゴールボールを体験する。(6年生)</p>  <p>④ 講話や体験を通して、人間の強さ、仲間、誰もが共生する社会等について考える。</p>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講話の前に「北橋市長からのメッセージ」を視聴することで、2020年にオリンピックパラピピックが開催されること、ホストタウン制度等を知ることができた。2020年は、オリンピックとパラリンピックが開催されることを講話の中でも、低学年が大きな声で発言することができた。</li> <li>○ 講話を通して、児童が「パラリンピック」について興味をもつことができたと同時に「ゴールボール」という競技を知り、「やってみたい」と思うようになった。</li> <li>○ 講話の中で、過去のパラリンピック「ゴールボール」の試合が流れたとき、低学年から高学年まで、一体になって応援する姿が見られた。講師がゴールを決めた映像では、児童から歓喜の声があがった。</li> <li>○ 実際にパラリンピックの選手と交流することで、児童の学習意欲を高めることができた。</li> <li>○ アイシェードをつけて、競技をすることで、児童から「立つだけでも怖かった」という感想が聞かれた。目が不自由な状態で生活する苦労を知り、困っている人を見かけたら、助けようとする気持ちが高まった。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ パラリンピック選手との交流</li> <li>○ パラリンピック競技「ゴールボール」の体験(6年生)</li> <li>○ ゴールボールで使用する鈴入りのボールを購入し、集会等で活用。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前に「ゴールボール」について調べたり、体験したりする時間を設定すれば、さらに興味をもつことができたのではないかと感じた。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ゴールボール」だけでなくパラリンピックの競技について調べ、発表する活動を通して、より多くの人にパラリンピックを知ってもらう学習を実施する。(発表の場・・・授業参観、地域行事、集会、高学年が低学年へ等)</li> </ul>